

教育行政のスキーム実践プランの概要

□ 基本的な考え方

- 策定の趣旨～時代の潮流や子どもたちを取巻く状況などを踏まえつつ、白糠町の将来を担う子どもたちが夢と希望をもって心豊かにたくましく成長し、すべての町民が健やかに充実した生活を送ることができるよう、これからの白糠町がめざす「ふるさと教育」の方向性と重点的な実践内容を明確にし、「子育てのまち白糠町」・「生涯学習のまち白糠町」の実現をめざす教育行政のスキーム【実践プラン】を策定する。
- 性格～町づくりの一翼を担う教育として、「ふるさと教育」のステップアップを図る教育行政のスキームを具現化する取り組みであり、教育行政を主管する白糠町教育委員会の主体性と責任において町民に示すものである。施策・事業等については、スクラップ・アンド・ビルドの考え方で進めていく。
- 期間～第2期（平成24年度～平成28年度）を終えたので、第3期（平成29年度～平成33年度）5年間と第4期（平成34年度～平成38年度）5年間を推進していくこととする。

※ 基本理念、三つのプラン、10の重点事業に整理する。

〔わが国及び北海道を取り巻く現状と課題〕

1. 教育の現状

- 子どもたちの現状
 - 学ぶ意欲や学力の低下傾向
 - 生活習慣の変化
 - 規範意識の低下や倫理観の希薄化
 - 勤労観・職業観の希薄化
 など
- 家庭・地域社会の現状
 - 家庭・地域の教育力の低下
 - 生涯学習へのニーズの高まり

2. 今日の社会状況

- 少子化・高齢化の進行
 - グローバル化の進展
 - 情報化の発展と環境問題の深刻化
 - 経済社会構造の変化
- など

〔今後重視すべき観点〕

- ◎ 「足元を耕し直す」「心の角度を変えてものを見る」「他人のために汗をかく」を基本スローガンとし、小中一貫教育を通して以下を実践する。
 - 変化の激しい社会で生きる実践的な力の育成
 - 夢や希望を実現しようとする自立の精神の涵養
 - 確かな学力・コミュニケーション能力など基礎的・基本的な資質・能力の育成
 - 国際社会を生き抜く国際感覚と語学力の育成
 - 自然豊かな白糠町の社会を担う意識の涵養
 - 思いやりの心や公共心・倫理観などの豊かな心の醸成
 - 健康で生き生きとした生活を送ることができる健やかな心身の育成
 - 社会の一員として共に支え合う共生の意識の醸成
 - 郷土に誇りを持って地域づくりに貢献する力の育成

↓ ↓

基本理念（白糠町の教育がめざす理念）

■ 先人の築き上げた白糠町の財産を生かし
新しい時代に即応した町を自らの手で創造する人を育てる教育

《自立》 ————— 《共生》 ————— 《創造》

	《学力のびのびプラン》	《生活いきいきプラン》	《親子にこにこプラン》
趣 旨	◎学校教育の重点施策を推進していくプランであり、特に義務教育段階の基礎・基本を確実に定着させるとともに、幼児から一般町民までの外国語の習得を願う取り組みである。	◎社会教育の重点施策を推進していくプランであり、特に町ぐるみ運動の実践と生活にうるおいをもたらす豊かな学びの環境整備を行うとともに、健康づくりのためにスポーツの日常化を願いとする取り組みである。	◎家庭教育の重点施策を推進していくプランであり、特に全ての言動の基となる基本的な生活習慣を身につけ、確かに豊かな心の育成によってあたたかみのある家庭生活を送ることを願う取り組みである。
実 践 プ ラ ン の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> □基礎学力定着プログラム <ul style="list-style-type: none"> ○国語・算数・数学等週数回、朝や放課後、総合の時間学校支援ボランティアが学校で予習・復習を重点的に指導 □外国語習得プログラム <ul style="list-style-type: none"> ○英語と中国語を幼児から一般町民まで学校等で先生方やALT、ボランティアが外国語の時間、総合の時間において発達段階に応じた外国語を学び、使う場を意図的に設定 □食育・木育推進プログラム <ul style="list-style-type: none"> ○「ふるさと給食」の充実 ○「早寝早起き朝ご飯運動」の推進 ○家庭での食育、植樹体験の推奨 ○食育・木育指導計画の作成 □健康保持・体力育成プログラム <ul style="list-style-type: none"> ○保健体育科年間指導計画の改善 ○体位測定、体力テストの実施 ○少年団活動・部活動の推奨 ○社会体育活動との連携 □小中一貫教育プログラム <ul style="list-style-type: none"> ○学力向上の実践（補充指導、つまづき回復指導） ○教育課程の改善 ○少年団・部活動・学校行事の工夫 ○外国語を系統的、継続的に学習 □教育コラボレーションプログラム <ul style="list-style-type: none"> ○大学教官・学生・施設等の活用 ○教育実習校の提供 ○共同研究・調査研究への協力 	<ul style="list-style-type: none"> □町ぐるみ運動推進プログラム <ul style="list-style-type: none"> ○「三愛運動」の実践 <ul style="list-style-type: none"> ●町民のふるまい向上 ○「ふるさとエコ&クリーンしらぬか」の実践 <ul style="list-style-type: none"> ●町の環境保全 ○「自然の番人宣言」の実践 <ul style="list-style-type: none"> ●ゴミの不法投棄防止 □ボランティア活動推進プログラム <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア意識の高揚と学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア実践の紹介 ●まちづくりに関するボランティア活動の拡充 ○人材バンクの整備と人材活用及び情報提供の充実 <ul style="list-style-type: none"> ●白糠名人百選の編集や広報の活用 ●まちづくり支援団体、協力団体の登録 □生涯スポーツ推進プログラム <ul style="list-style-type: none"> ○競技スポーツの充実 <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ指導者の育成 ●町技（バレーボール・バドミントン）の振興 ○スポーツ大会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ●交流し楽しめる大会の開催 ●スポーツ推進委員の活用 ○ひとり1スポーツの実践 <ul style="list-style-type: none"> ●各種スポーツ教室の開催 ●スポーツ活動の啓発 ○地域スポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> ●総合型地域スポーツクラブの支援 ●野外スポーツ・レクリエーション活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> □基本的な生活習慣の定着プログラム <ul style="list-style-type: none"> ○家庭の役割の自覚 <ul style="list-style-type: none"> ●家庭教育学級、PTA活動、学校行事などへの参加 ○子育て手引書「えがお」の活用 <ul style="list-style-type: none"> ●かわら版「えがお」の利用 ○子育て相談窓口の活用 <ul style="list-style-type: none"> ●相談窓口の確認 ○「しつけ」の実践 <ul style="list-style-type: none"> ●各種情報の収集と各家庭ごとの取り組み ○生活習慣の形成 <ul style="list-style-type: none"> ●あいさつがしっかりできる習慣 <ul style="list-style-type: none"> ・「おはよう」「こんにちは」「おやすみ」 ・「はい」「いいえ」 ・「ありがとう」 ・「ごめんなさい」 ●自分のことは自分でできる習慣 <ul style="list-style-type: none"> ・衣服や靴の着脱と整頓 ・自分の部屋の清掃と整理整頓 ・学習用具の準備 ・使ったものの後始末 ・箸や鉛筆の正しい持ち方 ・家庭学習 ●お手伝いをする習慣 <ul style="list-style-type: none"> ・一人一つ以上のお手伝い <p>※「三愛運動」を中心としつつ、次の重点事業の推進を通して実現を図っていく。 ↓ ◎学校との連携で家庭の教育力の再興を期する。</p>